

第8章 研究の展開 — 研究計画から発表・論文執筆まで

研究の入口（8.1 テーマ設定と研究計画）と出口（8.2 発表と論文執筆）について

8.1 テーマ設定と研究計画

➤ テーマをどのように選ぶか？

日常生活経験から／授業や書物の内容から／研究会等に参加して

➤ 先行研究の検索の重要性

① 学会発表論文集（どのような研究があるか知る手がかりとして）

② 学術雑誌論文

③ レビュー論文と解説書（諸研究の網羅的紹介、理論的枠組みの提示）

『心理学評論』"Psychological Review" "Psychological Bulletin"

④ 文献データベースの検索

SCI(Science Citation Index), SSCI(Social Science Citation Index)

重要な原則；「信憑性のある新しい文献を（できれば、いくつか）探しあてる」

➤ 研究計画の作成

題目；「何をどのように研究したのか」が具体的に伝わるもの

研究対象（対象者と現象）／研究方法／研究方法変数間関係や理論（モデル）

※仮でいいので、自分が何をやりたいかを明確にさせるためにも常につけておくこと

目的と意義；何をどこまで調べるか？学術的・実用的意義は？

方法；対象は？量的データか記述的データか？独立変数と従属変数は何か？

分析の見通し；分析手法は？どのような結果が期待できるか？

➤ 事前準備（予備調査や予備実験）

・ 質問項目の選定や表現のチェック

・ 問題の困難度（天井効果・床効果）のチェック

8.2 発表と論文執筆

➤ 発表の形式

概要；研究の内容、結果を要約 ※研究の全体構造をしっかりと伝える！

問題と目的；先行研究で何が未解決だったのか？検証したい仮説は何か？

方法；参加者と手続きについて

結果と考察；表やグラフで具体的に

まとめと今後の課題；結果の持つ意味とさらに追究すべき課題

▶ 効果的なプレゼンテーション

1. 視覚メディアの利用 (OHP, TP, PowerPoint, ポスターetc.)

PowerPoint について

- ・ 一度に見せる情報はテレビのニュース番組を参考に
- ・ 平均して1分あたり1枚程度のスピードで

2. 話し方

- ・ 一文は短く
- ・ 間のとり方を考え、単調にならないように
- ・ 提示画面を指示したり聴衆を見たりして話しかけている印象を

3. ハンドアウト

- ・ 提示画面そのままの資料
- ・ 発表時に聴衆に参照してほしい資料 (明確に指示すること)
- ・ 発表後に読んでもらいたい資料 (配布のタイミングに注意)

▶ 論文執筆

卒業論文・修士論文 ; 「どのような学習と研究をしたのか」過程が伝わるように

- ・ 先行研究に1章を設け、レポートのように整理する
- ・ 実験や調査の材料、データ、分析の途中結果をていねいに示す
- ・ 接続語を多めに使って文の接続関係を明らかにする
- ・ 段落分け、小見出しをつけて、何が話題となっているかを明確にする

※自分の書いた文章を何度も読み、他者にも読んでもらい書き直す習慣をつける